

〔五雜俎〕匏亦瓜之類也。與瓠一種而有甘苦之異。甘者爲瓠。詩所謂幡幡瓠葉是也。苦者爲匏。不可食。但可用以渡水而已。詩所謂匏有苦葉。濟有深涉是也。故夫子謂子路。吾豈匏瓜也哉。焉能繫而不食。言但可翫而不可食也。注者乃以繫於一處而不能飲食。解之則凡草木之類皆然。何必瓠瓜。此大可笑也。然匏瓠古亦通用。廣雅曰。匏瓠也。惠子謂莊子。魏王貽我五石之瓠。則亦匏也。河汾之寶。有曲沃之懸匏焉。則亦瓠也。今人以長而曲者爲瓠。短項而大腹者爲葫蘆。卽匏也。亦謂之壺。爾雅曰。壺。風八月。斷壺。鶡冠子。中流失船。一壺千金是也。然則壺嫩而甘者亦可食。老而苦者。古人皆用以渡水。今人則用以盛水而已。與瓠形質既殊。其熟瓠先而匏後。而古人通用之者一種也。陸佃埤雅斷以爲二種。固亦無害。乃釋匏而又釋壺。與瓠

爲三誤矣。

余於市場戲劇中見葫蘆多有方者。又有突起成字爲一首詩者。蓋生時板夾使然。不足異也。最後於閩中見一葫蘆甚長而拗。其頸結之若繩狀。此物甚脆。而蔓係於樹。腹又甚大。不知何以能結之也。或以燒酒沃之。則軟而可結。山東亦嘗見之。但長頸者另一種耳。

〔倭訓栞前編 三十五〕ゆふがほ 壺蘆也。夕顏の義。今俗ゆふごといひ。信濃にてよふがふともいへり。六百番歌合にも。夕露にひもとく花とよめり。枕草子に。夕がほは朝がほに似て。いひつゞけたるをか。しかりぬべき姿にて。花のありさまこそいとくちをしけれと云り。一説にふるき源氏繪などに云るは。王瓜也といへども。その花夕かげには却てしほめり。夕がほの雪といへるは。花をいへり。

〔傍廂後篇〕瓢箪

瓢と箪とは別物にて一物にあらず。一箪の食。一瓢の飲といふは。竹にて組みたる器に。飯を入れたるを一箪の食といひ。ふくべに入れたる酒を一瓢の飲といへるにて。瓢と箪とは似よりたるものにあらず。さるを瓢のみをへうたんといへるは。いみじき誤なり。